

第 34 回土木構造物検討会 議事録

1. 開催日時 : 2026 年 2 月 26 日 (木) 9 時 00 分～10 時 00 分

2. 開催場所 : Web のみ

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員 : 大島主査 (東京都市大学), 佃(産業技術総合研究所), 伊藤幹事(関西電力),
岡田(電力中央研究所), 松山(電力中央研究所), 星(北海道電力), 坂本(東北電力),
小川(東京電力 HD), 森本(中部電力), 西本(北陸電力), 鈴木(四国電力),
福田(九州電力), 鈴木(電源開発), 坂上(日本原子力発電) (計14名)

代理出席者 : 高松(中国電力, 家島委員代理) (計 1名)

欠席委員 : 京谷(東北大学名誉教授), 上田委員(京都大学), 小松(横浜国立大学), (計 3名)

常時参加者 : 大津(中部電力), 岩森(関西電力), 村上(関西電力), 河野(関西電力),
宮川(電力中央研究所) (計 5名)

オブザーバ : 太田(原子力規制庁) (計 1名)

説明者 : 遠藤(中部電力) (計 1名)

事務局 : 川口, 美濃(日本電気協会) (計 2名)

4. 配付資料

資料 No.34-1	第 33 回土木構造物検討会議事録 (案)
資料 No.34-2	土木構造物検討会委員名簿
資料 No.34-3-1	JEAC4601 NRA 技術評価実施状況について
資料 No.34-3-2	JEAC4601-2021 技術評価面談資料 (2 月 20 日 : 第 5 章)
資料 No.34-3-3	JEAC4601-2021 のエンドースの必要性について
資料 No.34-4-1	JEAG4642 制定案 (第 1 章)
資料 No.34-4-2	JEAG4642 制定案 (第 2 章)
資料 No.34-4-3	JEAG4642 制定案 (コメント対応一覧)
資料 No.34-4-4	JEAG4642 制定案 (比較表)
資料 No.34-5-1	書面審議結果 [土木構造物検討会 No.33-審 1]
資料 No.34-5-2	書面審議結果 [土木構造物検討会 No.33-審 2]
資料 No.34-5-3	書面審議結果 [土木構造物検討会 No.33-審 3]
資料 No.34-5-4	書面審議結果 [土木構造物検討会 No.33-審 4]

5. 議 事

会議に先立ち事務局から, 本会にて, 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後, Web 会議での注意事項の説明があり, その後大島主査による開催挨拶があり, その後議事が進められた。

(1) 配付資料の確認、定足数の確認（代理出席者・オブザーバの承認）等

事務局より配付資料の確認の後、現時点で委員の出席者は、15名であり、分科会規約第13条(検討会)第15項の議案決議に必要な委員数「委員総数(18名)の3分の2以上の出席(12名以上)」を満たしているとの説明があった。オブザーバ1名の紹介があり、分科会規約第13条(検討会)第11項に基づき、主査の承認を受けた。

(2) 前回議事録(案)の確認(審議)【議題1】

事務局より資料 No.34-1 に基づき、第33回議事録(案)の説明があり、正式議事録とすることについて、分科会規約第13条(検討会)第15項に基づき、Web機能により決議の結果、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

(3) 委員交代、新委員候補について【議題2】

事務局より資料 No.34-2 に基づき、以下の検討会委員の変更があり、新委員候補については、分科会規約第13条(検討会)第4項に基づき、次回耐震設計分科会で承認予定であるとの紹介があった。

・退任 家島 委員（中国電力） ・新委員 清木 委員（同左）

(4) JEAG4601-2021 第5章の技術評価の進め方について【議題3】

JEAG4601-2021 技術評価のうち第5章について、事務局より資料 No.34-3-1,2 に基づき、技術評価の状況の説明の後、伊藤幹事より資料 No.34-3-3 に基づき、エンドースの必要性和メリットについて説明があり、原子力規制庁への対応を丁寧に行っていくこととした。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ エンドースの必要性について、以前の ATENA アンケートで「エンドース不要」または「可能であれば」と回答していた各社は、幹事からの説明を受け、いずれもエンドースの必要性・メリットに異論なしとの立場を示した。
- ・ 土木構造物はサイト固有の評価が必要なものが多く、エンドースによる審査作業の簡略化メリットが見だしにくいことの話もあるが、取水系などのコンクリート構造物の評価手法は長年培ったもので成熟しており、各社はその構造物の特徴に照らし合わせて使用しており、エンドースによるメリットがあるものである。

(5) JEAG4642 の進め方について【議題4】

伊藤幹事より資料 No.34-4 シリーズに基づき、JEAG4642 の状況として、耐震設計分科会からのコメント対応が終わり、3月30日の原子力規格委員会への上程を予定している状況であることが共有された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

(6) 書面審議の結果報告について（報告）【議題 5】

事務局より、資料 No.33-4 シリーズに基づき、前回土木構造物検討会以降に実施された書面審議（土木構造物検討会 No.33-審 1,2,3,4）の結果について報告があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

(7) その他【議題 6】

次回土木構造物検討会については、技術評価の状況等を踏まえ別途連絡する。

以 上